2026 年 11 月更新

風しん

風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。





症状や特徴

★主な症状

・感染すると約 2～3 週間後に発熱、発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

・大人が発症した場合は、子どもに比べて発熱や発疹が長引きやすく、関節痛が強く現れることがあります。

★主な特徴

風しんへの免疫が十分でない妊婦（特に妊娠 20 週頃まで）が感染すると、赤ちゃんに先天性風しん症候群（眼、心臓、耳などの障害）が生じることがあります。

妊婦の周囲にいる方（配偶者、子ども、同居家族など）も、風しん予防に努めましょう。



感染経路

① 飛沫感染…感染者のくしゃみや咳による飛沫（しぶき）を吸い込むことで感染します。

②接触感染…感染者の唾液や鼻水が手に付着し、その手を介して他の人にうつったり、ドアノブやつり革などに付着したウイルスに触れたりすることで感染します。





予防方法

★予防接種が最も有効な予防法です。

風しんワクチンの接種で、95％以上の人が風しんウイルスに対する免疫を獲得することができます。また、2 回接種することで 1 回接種では十分な免疫がつかなかった人の多くが免疫を獲得できます。さらに、時間の経過とともに低下した免疫も、追加接種によって強化することができます。

風しんに感染したら

★医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。受診の際は必ずマスクの着用をしましょう。

＊風しんに特効薬はなく、症状を和らげる対症療法が中心となります。

大学への報告

風しんは学校保健安全法で定められた第二種感染症です。「発疹が消失するまで」出席停止となり、登校停止感染症としての手続きが必要です。

風しんと診断されたら、必ず國學院大學　登校停止感染症　報告フォームより報告してください。

厚生労働省 HP　風しんについて

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index.html

國學院大學保健室